

令和8年度

松本市小中学校環境教育支援事業

講師紹介シート



令和8年度 小中学校環境教育支援事業 環境学習講師一覧

No	講師	関連する主な教科・領域					
		社会	理科	図工 美術	技術 家庭	生活	総合
1	自然エネルギーネットまつもと	○	○				○
2	NPO法人信州ツキノワグマ研究会					○	○
3	松本市環境エネルギー部	○					○
4	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)	○	○	○			○
5	松本ホテル学(まなぶ)会	○	○			○	○
6	合同会社リトルピークス	○	○			○	○
7	株式会社サクセン	○	○				○
8	セブン-イレブン・ジャパン	○	○		○	○	○
9	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団	○			○		○
10	NPO法人わおん		○	○		○	○
11	松本市上下水道局下水道課		○				○
12	すえなみBC防災スクール	○	○		○	○	○
13	自然観察の会 ひこばえ		○			○	○
14	信州やがいたいけん楽校ぷらす	○	○	○		○	○
15	NPO法人えんどっこ	○	○			○	○
16	株式会社柳沢林業					○	○
17	いきものみつけファームin松本推進協議会	○	○			○	○
18	体験創庫かけはし	○	○	○	○	○	○
19	認定NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ	○	○				○
20	株式会社エコネコル松本支社	○					

2026.4.16現在

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校内】 【関連する主な教科・領域： 社会、理科、総合】

講師名	自然エネルギーネットまつもと 代表 平島 安人
講師(団体)について	2012年2月設立の任意団体です。「地域にあるものをいかした暮らし」の追求をポリシーとして活動しています。 講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。
得意とする分野や支援内容	30年間にわたり気候変動を研究し、緩和・適応に向けて活動してきた経験にもとづき、気候変動の本質に踏み込む内容を教え、生徒たちが自ら考える状況を作る授業を実施します。 
実施(可能な)プログラム例	「気候変動の基礎と本質」 ・ 事実を論理的に伝える。悲劇的な将来への恐怖心から気候変動への関心を引き起こさせるような手法はとらない ・ 一般的には気にされていないが本質的であり重要な切り口を提示 ・ 「なぜ、どうして」という疑問が出てくることを大切にする ※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。
対象	小4から中3まで
時間	2～3 時限
講師人数	子ども 30 人に講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき 5,000 円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・ ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・
学校側で必要な準備	プロジェクター、スクリーン
開催実績	2024 年度 長野市櫻ヶ丘中学3年生「気候変動」 2025 年度 松本市安曇中学 3 年生「気候変動」
その他	
講師連絡先	【団体名】自然エネルギーネットまつもと 【担当者名】平島 安人 【代表者名】平島 安人 【TEL】 【FAX】0266-52-0160 【メール】amadeus@minuet.plala.or.jp 【HP】https://www.enet-matsumoto.com/ 【住所】〒 392-0023 諏訪市小和田南 9-3

<p>申込み方法</p>	<p>①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。</p>
--------------	---

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校内】 【関連する主な教科・領域： 生活、総合】


講師名	NPO法人信州ツキノワグマ研究会
講師(団体)について	<p>めざすもの:野生の象徴でもある大型野生動物ツキノワグマへの理解を深め、クマとその生息環境の保護・保全を図り、科学的根拠に基づいて野生動物と人間の共存の実現に寄与すること。</p> <p>活動:1995年に発足以来、長野県内でツキノワグマの調査研究、被害対策、普及啓発を行っています。講師は、長野県クマ対策員です。</p>
得意とする分野や支援内容	<p>□授業の特徴:専門家が、クイズを交えながら楽しく、わかりやすく解説します。</p> <p>□内容:クマの体、食べ物、動く範囲、人里近くに来る理由、出会わないための対策、出会った時の対応などツキノワグマの生態や対策を分かりやすく伝えます。パワーポイント</p> <p>□持参するもの:毛皮、頭骨、足型、骨、食痕、糞内容物の乾燥標本など ※パソコンを持参し、パワーポイントによる授業を行います。オリジナル紙芝居やかかるたを活用することもできます。お気軽にご相談ください。</p> <p>□高学年以上:理科の授業で、乾燥したクマの糞内容物の分類を体験することで、クマが何を食べているか実感することができます。</p> <p>□クラスごと、学年ごと、全校など対応できます。</p> <div data-bbox="491 1099 1426 1308" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">クマ授業の様子（班ごとに毛皮や頭骨を用意します）</p>
実施(可能な)プログラム例	<p>「ツキノワグマを知ろう！」</p> <p>※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。</p>
対象	小学1年以上、特別支援学級
時間	45～90分程度
講師人数	人数に関わらず講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき 5,000円(授業1時限毎)</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	<p>プロジェクター、スクリーン(または投影画面)、長机数台 班ごとに毛皮を囲みながら行うため、体育館、視聴覚室等、ランチルーム等での開催を希望。</p>

<p>開催実績</p>	<p>平成 28 年度 奈川小学校(全校) ツキノワグマを知ろう！ 平成 30 年度 田川小学校(学年) 山の動物 会田中学校(全校) ツキノワグマを知ろう！ 令和 2 年度 大野川小学校(全校) ツキノワグマを知ろう！ 令和 3 年度 安曇小中学校(小学校、中学校) ツキノワグマを知ろう！ 令和 5 年度 安曇小学校(全校) ツキノワグマを知ろう！ 令和 6 年度 大野川小学校(全校) ツキノワグマを知ろう！ ※長野県内各地で毎年 10～20 校実施実績あり</p>
<p>その他</p>	
<p>講師 連絡先</p>	<p>【 団 体 名 】NPO 法人信州ツキノワグマ研究会 【 担 当 者 名 】瀧井暁子・浜口あかり 【 代 表 者 名 】岸元良輔 【 T E L 】050-1726-1884 【 F A X 】なし 【 メール 】kumaken_shinshu@yahoo.co.jp 【 H P 】https://kumakenshinshu.wixsite.com/kumaken 【 住 所 】〒390-0876 松本市開智 2-9-8</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。</p>

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校内】 【関連する主な教科・領域： 社会、総合】

講師名	松本市役所 環境エネルギー部
講師(団体)について	松本市役所の中核部門のひとつである環境エネルギー部は、持続可能な街づくりを実現するために、環境保全とエネルギーの最適利用を総合的に推進しています。
得意とする分野や支援内容	<p>私たちの暮らす松本市には、どんな「環境」があるでしょうか。また、その「環境」をよくするために何ができるでしょうか。</p> <p>松本市の環境について、生徒さんたちの探求心に応じた講座を行うことができます。</p> <p>学習内容は、以下の1～5の分野の中から、ご要望に応じて組み合わせることも可能です。</p> <p><環境の「5つの柱」> (松本市環境基本計画に基づく)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地球にやさしく ゼロカーボンって何？地球温暖化を防ぐために、一人ひとりができることについて学びます。 2 資源を大切に 「もったいない」をキーワードとした3Rの取組みや、ごみの現状、食品ロスなどについて学びます。 3 安心・安全な暮らし 市内の騒音や水質などの環境の状況や、私たちの行動がどのように環境に影響を与えるのかについて学びます。 4 自然の恵み 松本市にはどんな自然環境があるでしょうか。森林のはたらきや生きものの特徴・課題について、わかりやすく学びます。 5 心地よいまち ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策等、きれいで心地よい環境を守るための取組みについて学びます。 <div style="text-align: right;">  </div>
実施(可能な)プログラム例	<p>担当者が講座等を実施します。または、事前にいただいた生徒さんたちの質問に答えます。</p> <p>※学校や生徒さんたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。</p>
対象	小学4年生以上
時間	1時限
講師人数	講師1～2名
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料 <p>②クラス・学年全体に必要なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>③児童個人に必要なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし
学校側で必要な準備	電源の確保、モニターやスクリーン(必須ではありません。)(講師からの持ち込み可能資材: プロジェクター、スクリーン、PC、配布資料等)

開催実績	R5 年度 源池小 4 年、安曇小 6 年、R6 年度 島内小 6 年
その他	
講師 連絡先	<p>【団体名】松本市環境・地域エネルギー課(窓口) 【担当者名】環境教育支援事業担当 【TEL】34-3268(平日 8 時 30 分～17 時 15 分のみ対応可) 【FAX】34-3202 【メール】s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp 【HP】https://www.matsumoto.nagano.jp/soshiki/7.html 【住所】〒390-8620 松本市丸の内 3-7</p>
申込み方法	<p>①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。</p>

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介シート登録用紙

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校内】 【関連する主な教科・領域： 社会、理科、図工美術、総合】

講師名	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと)
講師(団体)について	<p>エコネットまつもとは「松本市における地球温暖化防止の理念の普及と機運の醸成を目的として地球温暖化防止につながる活動をする」を理念として平成 17 年に設立し、市民レベルでの活動を数多く行っている団体です。構成団体の持ち味をいかした、さまざまな環境講座や温暖化対策イベントを実施しています。</p>
得意とする分野や支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコネットまつもとの代表(気象予報士)が、地球環境や身近な環境問題について、スライドや教材を用いて講習します。地球環境、地球温暖化、気候変動、ゼロカーボンについて学べます。 ・ 竹材を加工・装飾したキャンドルフードや木材を使用した行燈、蜜ろう製のろうそくを作ります。作品は、地球温暖化防止の啓発イベント「キャンドル・ナイト」(6月:松本市美術館、12月:市立博物館)にて展示・点灯します。自然資源の利活用や地球温暖化防止について、作品づくりを通して楽しく学べます。     
実施(可能な)プログラム例	<p>参考 令和7年度講座より No.5「地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ」 No.11「デジタル地球儀で学ぶ地球環境問題、地球温暖化問題とゼロカーボン」 No.13「竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり」 No.19「小水力発電機等による自然エネルギー体験」</p> <p>※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。</p>
対象	小4から中3まで、特別支援学級
時間	40分～3時間程度(内容によります。要相談)
講師人数	内容によります。要相談(子ども5～6人に講師1人・20人～1クラス等)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき 5,000円(授業1時限毎)</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>

<p>学校側で 必要な準備</p>	<p>内容によります 例： プロジェクター、スクリーン(※体育館、講堂などで実施する場合はマイク)パソコン、教材、 工作室の確保(※蜜ろうそくを製作する場合は、火気使用可能な教室の確保) 校内の流水(落差)がある箇所</p>
<p>開催実績</p>	<p>【地球環境問題】 市民向けワークショップ・松本市環境学習講座(エコスクール)内での講習 平成 30 年度 明善小 令和 2 年度 山辺小 松本市あるいはエコネットまつもと主催の環境講座など 県内各地の公民館講座(夏休みこども講座など) 実績多数 【竹筒キャンドルづくり】 令和元年度 梓川小、市民向けワークショップ 2 回 令和 2 年度 菅野小 令和 3 年度 梓川小 令和 4 年度 梓川小、明善小 【自然エネルギー体験】 平成 18 年度～ 松本市消費生活展への出展(ソーラーカー、発電自転車の試乗体験) 令和 3 年度 安曇小</p>
<p>その他</p>	<p>持込資材例: デジタル地球儀一式、パソコン、教材(パンフレットなど) 竹材、のこぎり、電動ドリル、軍手、蜜ロウ、ガスコンロ等 可搬式小水力発電機、ソーラーカー、発電自転車 同日開催可能な講座があります。ご相談ください。</p>
<p>講師 連絡先</p>	<p>【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと) 【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】宮澤 信 【TEL】0263-57-5460/080-5109-9715 【FAX】0263-57-5460 【メール】ruri-5460@ezweb.ne.jp(鈴木) canopus@go.tvm.ne.jp (宮澤) s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp (松本市環境・地域エネルギー課) 【HP】https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kankyojoho/kankyo_kyoiku/ecoclub/econet.html 【住所】—</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。</p>

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校外、校外どちらでも可】 【関連する主な教科・領域： 社会、理科、生活、総合】

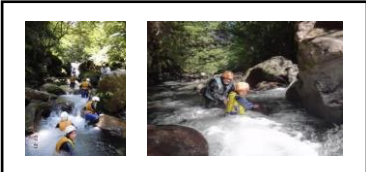



講師名	松本ホテル学会 藤山 静雄
講師(団体)について	<p>藤山静雄(松本ホテル学会)は、これまで大学教員をし、自然の理解、自然環境の保全の教育に関わりました。その中で自然環境、特に生き物は人が生きる為に必要な事を解説しました。又、これを子ども達にも理解できるよう授業、生き物観察会で示してきました。それでは小動物を探し、観察、考え、質問し、それに解説を加える事で豊かな自然のある事の大切さを理解できるよう努めてきました。</p> <p>専門知識のある会員が多数いますので要望への対応も可。 学校のビオトープ再生、利用の支援も可。</p>
得意とする分野や支援内容	<p>これまで環境行政の仕事にも直接に関わっても来ましたので、実地に基づく教育指導ができます。特に学習における生徒の積極性を引き出すこと、考えたりまとめたりする力を伸ばせるように指導しています。参考:大人から子どもまでが投稿して頂いている 60 ページ程の冊子を毎年発行して学習実績等が残るようにしています。詳細はFB 松本ホテル学会参照。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">○校庭での野外観察会指導の様子 ○生き物観察の後、生徒の発表を支援</p>
実施(可能な)プログラム例	<p>校内(陸上の生き物、ビオトープ)、河川(身近な川の生き物)の現場での採集、観察、考察、種の記載、発表、及び専門家による分かり易い解説を含む授業。講師による1時限のスライドを用いた楽しい解説学習のみも可能です。 ※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。</p>
対象	小学生から中学生まで。特別支援学級も可能。
時間	90分(2時間)程度
講師人数	子ども15人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき 5,000円(授業1時限毎)</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・特になし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし</p>
学校側に必要な準備	プログラムにより準備物は異なります。状況に応じて対応します。
開催実績	<p>令和3年度 四賀小学校、田川小学校、開明小学校 等 令和4年度 四賀小学校、田川小学校、石芝小学校、開明小学校 等 令和5年度 四賀小学校 本郷小学校 源池小学校 筑摩小学校 等 令和6年度 四賀小学校 開智小学校、塩尻市立桔梗小学校 等 令和7年度 信大付属松本小、鎌田小学校、二子小、丸の内中等</p>
その他	

<p>講師 連絡先</p>	<p>【団体名】松本ホテル^{まなぶ}学会 【担当者名】横山裕巳 【代表者名】藤山 静雄 【TEL】 090-1736-6771 (正午以降なら連絡可能) 【FAX】46-3275 【メール】sfujiya@sinshu-u.ac.jp 【HP】FB 松本ホテル学会 【住所】〒390-0311 松本市水汲25-6</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。</p>

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介シート登録用紙

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校外、校外どちらでも可（山、川）】 【関連する主な教科・領域： 社会、理科、生活、総合】


講師名	合同会社 リトルピークス
講師(団体)について	<p>2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティーを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。</p> <p>ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。</p> <p>松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。</p>
得意とする分野や支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地元で流れる川の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！ どんな川、どこの川でも出張します！ 川は山と海をつなぐ血管です。 ・川からの眺めは、地域の人々の生活を現します より地元の川を知り、身近な存在になること間違いなし。 ・ダム機能も学べます 自分たちの上流で今何が起き、どう水が利用されているのか？これからのダムとの付き合い方、水害対策など、水遊びしながら本質に迫ります。 ・今期のテーマは、登山から「有限」を学ぶ。 時間も空気も水、食べものも… 意識することで明日からの生活が変わる！ <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div>
実施(可能な)プログラム例	<ul style="list-style-type: none"> ・梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー(R7年度講座 No.7) ・地元の川大好き！リバーアドベンチャー(R7年度講座No.28) ・梓川&奈良井川&犀川ラフティング (R7年度講座 No.29) ・水殿ダムラフトピクニック(ダム見学付き)(R7年度講座No.30) ・地元の川が100倍好きになる登山学(R7年度講座No.31) <p>※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。</p>
対象	<p>小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級(応相談)</p>
時間	<p>1時間程度(内容によって変動有)、3時間程度(内容・河川によって変動有) 半日～一日程度(内容・山域によって変動有)</p>
講師人数	<p>講座によります(応相談) (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども30人に講師1人(1クラスor学校単位で1講師も可能) ・子ども7～10人に講師1人(河川によって変動有)

費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき 5,000 円(授業1時限毎)</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・特になし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 講座によります 例 ・保険料 ¥ 200～350/参加者(学校保険にて対応可能) ・レンタル料金 ¥ 500(ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む)</p>
学校側で必要な準備	<p>講座によります (例) ・スクリーン、プロジェクター、水着、運動靴、飲み物 ・登山に必要な資機材など</p>
開催実績	<p>【令和 7 年度実施】 梓川小学校 4 学年「大河の一滴スライドショー」「水殿ダムラフトピクニック」 「リバーアドベンチャー」 清水小学校 2 年生「女鳥羽川リバーアドベンチャー」 安曇小学校 5.6 年「水殿ダムラフトピクニック」 安曇小学校 3.4 年「大河の一滴スライドショー」「梓川リバーアドベンチャー」 大野川小学校 3.4 年「大河の一滴スライドショー」「シャワークライミング」 源池小学校 2 年「薄川リバーアドベンチャー」 波田小学校 5 年「大河の一滴スライドショー」「乗鞍ハイキング」 波田小学校 3 年「大河の一滴スライドショー」「上高地源流見学」 波田小学校 4 年「梓川リバーアドベンチャー」 開智小学校 2.3 年「女鳥羽川リバーアドベンチャー」 梓川小学校 3 年「乗鞍高原スノーアドベンチャー」 大野川小学校 1.2.3 年「乗鞍高原スノーアドベンチャー」 檜川小学校「奈良井川リバーアドベンチャー」「奈良井川大河の一滴スライドショー」</p>
その他	<p>講師持込資材等(参考) ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・ファーストエイドなど</p>
講師連絡先	<p>【団体名】リトルピークス【代表者名】小峰邦良 【担当者名】小峰邦良 【TEL】0263-93-1243/090-3561-5351 【FAX】0263-93-1243 【◎メール】mine@littlepeaks.jp 【HP】https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】松本市安曇 4306-7</p>
申込み方法	<p>①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記 E メールに送付する。 ③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。 ④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ⑤当日を迎える。 ⑥終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。</p>

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校内】 【関連する主な教科・領域： 社会、理科、総合】


講師名	株式会社サクセン
講師(団体)について	1950年に設立し、70年以上にわたって長野県で水井戸・温泉井戸掘削を行ってきた会社です。松本市内では、平成の名水百選に選ばれた『まつもと城下町湧水群』の整備等の実績があります。 技術士・地質調査技士・1級さく井技能士多数在籍
得意とする分野や支援内容	私たちの足元を流れる地下水。普段は意識しませんが、水道や農業・工業など身近なところで利用されています。そんな地下水や地下の地層について、実物を交えながら学習をすることができます。 
実施(可能な)プログラム例	(室内)地下水模型・地質サンプル見学・硬水軟水飲み比べ・パックテストを利用した水質調査など (屋外)手押しポンプ体験・松本城周辺の井戸巡りツアーなど ※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。
対象	小3から中3まで
時間	90分程度(学習内容によって調整できます)
講師人数	1クラス当たり講師2人、補佐2人 ※少人数グループにも対応いたします
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・無料 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	理科室などの外へ出やすい教室の確保・スクリーンまたはモニター
開催実績	令和4年度 豊科北小学校 令和5年度 豊科北小学校、旭町小学校 令和7年度 信大附属松本小学校
その他	実施の1カ月前までを目安にお申し込みください。 ※1カ月前を切っても対応可能な場合がありますので、お気軽にご連絡ください。
講師連絡先	【団体名】 株式会社サクセン 【担当者名】 鈿持 龍司 【代表者名】 高橋 作夫 【TEL】 0263-29-2810 (8時~17時なら連絡可能) 【FAX】 0263-25-2215 【メール】 educ@sakusen.co.jp 【HP】 https://sakusen.co.jp 【住所】 〒390-0833 松本市双葉6番1号

申込み方法	<ul style="list-style-type: none">①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。④当日を迎える。⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。
-------	--

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校内】 【関連する主な教科・領域： 社会、理科、技術家庭、生活、総合 】

講師名	セブン-イレブンとめざす未来～地域や社会と共に～
講師(団体)について	セブンイレブンジャパンの オペレーションディストリクトマネジャー及び オペレーションフィールドカウンセラー が講師を務める予定です
得意とする分野や 支援内容	<p>食品ロス及びプラスチック削減や品ぞろえを考えるについての学習支援ができます。 これまでお仕事説明やおにぎりの発注を考えるなどの講座を開催してきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
実施(可能な) プログラム例	<ol style="list-style-type: none"> ① セブン-イレブンが取組んでいる環境問題、SDGs活動を紹介する出張授業(45～90分) ② コンビニエンスストアの発注を考えるお仕事体験(45～90分) ③ セブン-イレブン店舗の仕事紹介(小学校低学年向け)(45分) ④ セブン-イレブン社員の仕事紹介(45分) <p>※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。</p>
対象	小3から中3まで、特別支援学級
時間	45分～90分程度
講師人数	子ども 35 人に講師1人(学年およびクラス単位で受付しております)
費用	<ol style="list-style-type: none"> ① 講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき 0 円(授業1～2時限毎) ② クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・アンケート用紙を書く机等 ③ 児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・筆記用具
学校側で 必要な準備	投影用プロジェクター、スクリーン、机(講師台)、マイク、電源延長コード、HDMI コード類、指示棒(ポインタ)
開催実績	令和 6 年度 岡田小、中山小(松本市) 令和 7 年度 安曇小(松本市)
その他	お申込みの際、どの授業をいつ頃実施でご希望されるのか？ ご連絡願います

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校内】 【関連する主な教科・領域： 社会、技術家庭、総合】



講師名	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
講師(団体)について	<p>Iターン者と地域住民との交流による新しいふるさとづくりを目指し2006年に設立。2007年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」、2015年度から地域ガイド育成講座「案内人の教室」、2021年度から子ども達の探究学習支援「ふるさと探究」を実施。 2022年度長野県元気づくり支援金活用優良事業として県知事表彰受賞</p>
得意とする分野や支援内容	<p>「ふるさと探究プログラム」として、「ぬかくど体験(初級)」「謎解きウォーク(初級)」「謎探しウォーク(中級)」「課題解決型探究(上級)」の4プログラムをオーダーメイドで実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>
実施(可能な)プログラム例	<p>【A】 ぬかくど体験(初級) 【B】 謎解きウォーク(初級)</p> <p>※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応</p>
対象	小学3年から中学3年まで
時間	【A】 120 分程度 【B】 180 分程度
講師人数	子ども 5～7 人に講師1人程度(最低 3 人)
費用	<p>① 講師謝礼 →【報償費】 ・講師1人につき 5,000 円程度</p> <p>② クラス・学年全体で必要なもの →【消耗品費】 ・【A】 有機米代(3 升/クラス):4,500 円程度 【B】 なし</p> <p>③ 児童個人で必要なもの →【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	※事前打合せ時に相談
開催実績	<p>【A】 二子小 3 年 菅野小 3 年 波田小 6 年 会田中 1 年 【B】 梓川小 6 年 ※上記以外に安曇野市内多数</p>
その他	※申込はプログラム実施の 3 ヶ月前
講師連絡先	<p>【団体名】NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団 【担当者名】宮崎 崇徳 【代表者名】望月 彰 【TEL】0263-81-1325 ※連絡は原則としてメールまたは FAX 【FAX】0263-81-1280 【メール】lifeport@nifty.com 【HP】http://azumino-furusato.com/ 【住所】〒399-8304 安曇野市穂高柏原 1132-2</p>

<p>申込み方法</p>	<p>①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。</p>
--------------	---

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校外、校外どちらでも可】 【関連する主な教科・領域： 理科、図工美術、生活、総合】

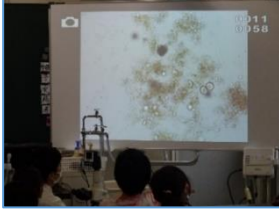

講師名	特定非営利活動法人わおん
講師(団体)について	<p>塩尻市を拠点に、自然体験活動を行っています。 こどもたちに遊びと安全管理のスキルを身につけてもらい、やりたいことに挑戦できる体験活動を実施しています。 焚き火やのこぎり、ナイフ、ロープワークの基本を身につけたり、野外調理ができるようになったり、いろいろな経験をする機会をつくっています。 また、自然の中での発見や驚きを大切に、観察する目を持ってもらいたいと思っています。</p>
得意とする分野や支援内容	<p>自然を観察し、いろいろなものを見つけ楽しむ自然体感プログラムでは、中庭や工程などの少しの自然の中でも実施できます。 自然物を使った工作では、木の枝をのこぎりで切って、実際に木を切る大変さを体験しながら、ものづくりをする楽しさを感じてもらおう活動もできます。 また、たき火をつけられるようになったり、ロープワークを学んでハンモックやスラックラインを設置できるようになったりする外あそびの達人講座も実施できます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
実施(可能な)プログラム例	<p>自然体感プログラム: 工程などでいろいろな感覚を使って自然物を観察し、気づきをうながします 自然素材で簡単工作: 木の枝をのこぎりで切って、キーホルダーなどを作ります。 外あそびの達人講座: たき火をしたり、ロープワークを学んでハンモックやスラックラインを設置したりします。45分で1つの活動ができます。たき火は火が使える場所が必要になります。</p> <p>※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。</p>
対象	小1から小6まで、特別支援学級
時間	45分～90分程度
講師人数	子ども15人に講師1人、子どもの人数に限らず講師は2名以上必要
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき 5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・工作の場合、紙やすりやボンドが必要になることがあります ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・工作でキーホルダーを作る場合、ひも、金具、目玉などが必要になることがあります。</p>
学校側で必要な準備	場所の確保、材料については要相談

<p>開催実績</p>	<p>令和4年度 外あそびの達人講座:開明小学校 自然体感プログラム:二子小学校 自然素材で簡単工作:波田小学校 令和5年度 自然体感プログラム(川の生き物しらべ):並柳小学校 外あそびの達人講座:日義小学校 令和6年度 自然体感プログラム:波田小学校 自然素材で簡単工作:開智小学校 令和7年度 自然素材で簡単工作:二子小学校、梓川小学校</p>
<p>その他</p>	<p>5月～10月ごろが気候的に実施しやすいです</p>
<p>講師 連絡先</p>	<p>【団体名】 特定非営利活動法人わおん 【担当者名】 山田直美 【代表者名】 山田勇 【TEL】 0263-87-3005 (時以降なら連絡可能) 【FAX】 0263-87-4024 【メール】 waon@npowaon.com 【HP】 https://www.npowaon.com/ 【住所】 〒399-0704 塩尻市広丘郷原685</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。</p>

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校内】 【関連する主な教科・領域： 理科・総合】


講師名	松本市 上下水道局 下水道課
講師(団体)について	<p>下水道施設の維持管理に携わる、下水道課の職員です。 小学生を対象とした出前講座など、下水道に関する啓発活動にも取り組んでいます。</p>
得意とする分野や支援内容	<p>実験や観察を交えながら、下水道の仕組みや役割について学べる講座を開催してきました。下水道施設の維持管理に直接携わっている立場から、下水道について分かりやすく説明します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
実施(可能な)プログラム例	<p>ワクワク下水道教室 (内容) 1 下水道の仕組み、浄化センターまでの下水の流れ 2 ペットボトルを使った紙の溶け方の違いの実験 3 顕微鏡映像をモニターに映して微生物を観察 浄化センターの見学前に予習として利用していただくと、より理解が深まる内容となっています。</p>
対象	小学4年生
時間	1時限(1クラス毎)
講師人数	講師3~4人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	<p>教室の確保(テーブルごとに水道のある理科室または家庭科室等) 電子黒板またはモニターの確保 電源の確保 ペットボトル(500ml キャップ付き 1人2本)</p>
開催実績	<p>令和5年度 ワクワク下水道教室:源池小、芝沢小、波田小 令和6年度 ワクワク下水道教室:開智小、菅野小、並柳小 他2校 令和7年度 ワクワク下水道教室:並柳小</p>
その他	<p>・開催前に機材等の確認を兼ねて打合せをお願いします。(20分程度) ・5~7月には社会科見学が多いため、ご希望の日程に添えない場合があります。</p>

<p style="text-align: center;">講師 連絡先</p>	<p>【団体名】 松本市上下水道局 下水道課 【担当者名】 水質担当 【代表者名】 【TEL】 32-5169 (平日 8時30分～17時15分) 【FAX】 37-1155 【メール】 gesui@city.matsumoto.lg.jp 【HP】 【住所】 〒390-0864 松本市宮渕本村 8-1 (宮渕浄化センター)</p>
<p style="text-align: center;">申込み方法</p>	<p>①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。</p>

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介シート登録用紙

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校外、校外どちらでも可】 【関連する主な教科・領域： 社会、理科、技術家庭、生活、総合】

講師名	すえなみ BC 防災スクール
講師(団体)について	<p>当スクールでは、「生きる力を身につける」をコンセプトに、森の中でナイフ一本のサバイバル術ブッシュクラフト、ならびに防災教育、環境教育を行っています。 当事業には令和元年から登録し、小中学校で授業を行っています。</p>
得意とする分野や支援内容	<p>単に技術や知識を伝えるのみならず、防災や野外教育に関わる場において、生徒が体験を通して自ら気づき、新しい前提へと切り替わる体験学習のプロセスそのものを設計して提供します。 先生や生徒の漠然とした願いを形にすることを得意としています。</p> 
実施(可能な)プログラム例	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアから学ぶ、防災・災害対策 何を失ったら人は生きていけないのか。生きていく為に最低限必要な要素を知り、非常時に身近な物を使って確保する考え方を学ぶ。その中から一番大切な体温保持する方法や火を手に入れる体験をする講座です。 ・手作りろ過器で飲み水作り(水の循環と森の役割を学ぶ) 飲み水とは？をテーマに、飲める水と飲めない水の違い、地球規模の水の循環、森の役割について解説します。その後、ペットボトルで簡易ろ過器を作り、泥水を濾過する実験をします。 ・着火、焚火体験から学ぶ燃焼の科学 燃焼に必要な(可燃物、熱、酸素)の話と、様々な着火方法の仕組みを解説します。その後、実際にマッチ、ライター、火打ち石、虫眼鏡、弓きり式火おこしを使った着火体験をする講座です。 ・キャンプ・野外生活 基礎 何を失ったら人は生きていけないのか。生きていく為に最低限必要な要素を知り、野外において確保する考え方を学ぶ。その中で一番大切な体温保持するシェルター(雨風を防ぐもの)作りを体験する講座です。 <p>※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。</p>
対象	小4 から中3 まで、特別支援学級
時間	二時限程度
講師人数	ひとクラスに対して講師2人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき 5,000 円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・数千円程度 ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・プログラムによってペットボトルや空き缶など</p>

学校側で 必要な準備	基本的にはありません。
開催実績	平成 30 年度、31 年度 鎌田児童センター 平成 30 年度 本郷図書館、公民館講座、塩尻市広丘小 PTA 講演 令和 2 年度 鎌田小 令和 3 年度 鎌田小 令和 4 年度 鎌田小 令和 5 年度 旭町小、梓川小 令和 6 年度 田川小、中野市立高社中、諏訪実業高校、理科専科教員研修 令和 7 年度 島内小、中野市立高社中
その他	特になし
講師 連絡先	【団体名】すえなみ BC 防災スクール 【担当者名】末次克洋(すえなみかつひろ)【代表者名】同じ 【TEL】090-9122-6032 (時以降なら連絡可能) 【FAX】なし 【メール】k-suenami@wagamamalive.com 【HP】 https://bushcraft.wagamamalive.com/ 【住所】〒390-084 松本市両島 7-1 オフィス松本堂1階 SENSE 内
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校外、校外どちらでも可】 【関連する主な教科・領域： 理科 生活 総合】

講師名	自然観察の会 ひこばえ
講師(団体)について	1996年に会が発足し30年目になります。以来「自然観察からはじまる自然保護」を目ざして、自然と人とのつながり、動植物(生きもの)と人とのつながりなどを「自然観察」から学び、保護、保全につながる思い(願い)を忘れず活動をしています。何よりも、はじまりから自然観察の楽しさ、知ることの喜び、好き→大切に→守ることへ、を目ざしています。
得意とする分野や支援内容	いつでも、どこでも「自然観察」は可能です。 自然の楽しみ方を実践しています。誰でもが(子どもから大人まで)自然から学び、五感を使って感じる事、体験することの楽しさや喜び大切さを味わってほしいと願い、活動しています。
実施(可能な)プログラム例	・四季折々の(春、夏、秋、冬)の自然観察(身近な場所で) ・フィールドの物(木の実、つる、松ぼっくりなど)を使って、工作、リレー遊び、紙芝居など。 ※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。
対象	小中学生、特別支援学級(障がいをもつ子どもたち、全ての子どもたち)
時間	120分～150分(2～2.5時間)程度
講師人数	子ども15人に講師1人(1クラスに対して講師2人)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	必ず事前打合わせをして、必要があればお願いする
開催実績	・平成27年度～令和7年度 今井小学校:身近な自然観察 ・松本市エコスクール ・地区公民館、福祉ひろば:自然観察ガイド ・上高地パークボランティアとして、安曇小中学校 上高地学習
その他	
講師連絡先	【団体名】自然観察の会 ひこばえ 【担当者名】村上 さよ子 【TEL】0263-26-1573 携帯 090-7204-8140 (いつでも連絡可能) 【FAX】0263-26-1573 【メール】arupusu0712@docomo.ne.jp 【HP】 【住所】〒390-0847 松本市笹部 3-11-3
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先FAXおよび教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校外】 【関連する主な教科・領域： 社会、理科、生活、総合】

講師名	NPO法人えんどっこ
講師(団体)について	梓川を中心に、河川等の水辺の環境学習、環境調査、国際協力を行うNPOです。
得意とする分野や支援内容	<p>学校付近の川や水辺の生き物の観察会を行います。</p> 
実施(可能な)プログラム例	<p>○水辺の生物観察の指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物採取の方法を指導し、採取した生物の名称やどんな生き物かを解説します。 ・水生生物の生息状況と、透視度やCODなどの化学的測定をあわせて行い、河川の汚染を解説します。 <p>※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。</p>
対象	小2から中3まで、特別支援学級
時間	1～2 時限程度
講師人数	子ども 20 人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師1人につき 5,000 円(授業1時限毎) <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物を入れる水槽など <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・濡れてもいい靴や長靴
学校側で必要な準備	水質階級と指標生物のコピー
開催実績	平成 17 年度から 水辺観察会など実施
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】 NPO法人えんどっこ 【担当者名】 大月健二 【代表者名】 大月健二 【TEL】 090-4463-5887 (13 時以降なら連絡可能) 【FAX】 0263-92-6080 【メール】 gengorou_item@yahoo.co.jp 【HP】 http://endotuko.web.fc2.com 【住所】 〒390-1401 松本市波田 248-22</p>

申込み方法	<ul style="list-style-type: none">①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。④当日を迎える。⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。
-------	--

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校外】 【関連する主な教科・領域： 生活、総合】

講師名	柳沢林業スタッフ
講師(団体)について	山の恵みを生かしきることを理念とする林業会社です。 森林管理や木材生産にとどまらず、製材・加工、薪の製造販売、里山整備、特殊伐採、庭づくり、まちなか緑化などの事業をしています。 また、キャンプ場運営や林業体験プログラム、循環型農業など、山と人・地域をつなぐ取り組みもしています。
得意とする分野や支援内容	林業や里山についての学習支援が得意です。 枝打ち体験・樹木剪定・薪割体験などができます。 その他、キャンプ場運営手伝いや里山整備手伝い、働く馬とのふれあいや乗馬体験もできます。  
実施(可能な)プログラム例	林業体験プログラム 里山整備プログラム ホースコミュニケーションプログラム キャンプ場しごと体験プログラム ※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。
対象	小学校から中学生、特別支援学級
時間	120分～半日程度
講師人数	子ども5人に講師1人、参加人数に限らず講師2人以上は必要
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・その都度、内容に応じて異なります。 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・その都度、内容に応じて異なります。
学校側で必要な準備	その都度、内容に応じて異なります。
開催実績	令和5年度 里山資源について学ぶ:岡田小学校 令和5年度 身近なもので火おこし体験:岡田小学校 令和6年度 馬とふれあい体験・里山散策:松本盲学校
その他	プログラム実施の3か月前にはご連絡をお願いします。 夏期は馬のプログラムは実施出来ません。

<p>講師 連絡先</p>	<p>【団体名】株式会社柳沢林業 【担当者名】田島 政樹 【代表者名】原 薫 【TEL】0263-87-5361 (8~17時なら連絡可能) 【FAX】0263-87-5362 【メール】yamato-farming@yanagisawa-ringyo.jp 【HP】yanagisawa-ringyo.jp 【住所】〒390-0313 松本市岡田下岡田 774-1</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。</p>

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校外、校外どちらでも可】 【関連する主な教科・領域： 社会、理科、生活 総合】

講師名	いきものみつけファーム in 松本構成メンバー
講師(団体)について	いきものみつけファーム in 松本には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。自然体験・環境教育・生活や文化に関わるアクティビティが実施可能です。
得意とする分野や支援内容	<p>1 手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ精米工場の見学と、流通、循環について子ども達へ体験型学習を提供できます。</p>    <p>2 いきもの探しと観察及び環境教育講座 身近な自然フィールドで体験型学習を実施します。自然や環境の事が学べるアクティビティを多数実施できます。</p>    <p>3 年間を通じてお米の肌ヌカ(米の精)を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物作りと生きもの溢れる農地作りを行い、その場所を環境学習に使用しています。作物を育てる活動は5月～11月が活動時期の目安です。学校や近隣に出向き、農業体験の講座を実施することが可能です。</p> 
実施(可能な)プログラム例	<p>1 年間を通じてお米の肌ヌカ(米の精)を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物作りと生きもの溢れる農地作りを行い、その場所で環境学習を実施します。活動は5月～11月主です。精米工場の見学は年中できます。学校や近隣に出向き、講座を実施することも可能です。</p> <p>2 身近にある自然と環境について学べる講座です。 生き物を観察する活動は5月～12月が活動時期の目安です。学校や近隣に出向き、自然体験などの講座を実施することも可能です。</p> <p>3 プランターキッドと米の精を使用して、家庭で育てる事ができるプランター菜園について体験型でレクチャーする。 ※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。</p>
対象	小1から中3まで、特別支援学級
時間	90分程度
講師人数	子ども20人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき 5,000 円(授業1時限毎)</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・相談の上必要な物が出た場合 ・資料代金、実習用資材使用料金(応相談) ・プランター、苗代、肥料代等(応相談)</p> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・軍手・水筒・野外活動ができる服装</p>

学校側で 必要な準備	活動場所(屋外・屋内共に) 講習内容により炊事道具一式
開催実績	平成 25 年度～令和7年度 主催事業で実施 (平成 27 年度～30 年度 菅野小 令和元年度 安曇小 令和 5、6、7年度 源池小)
その他	主にグリーンシーズン(4 月から 12 月)の開催で、事前打ち合わせを開催 1 か月前目安にはしたいです。
講師 連絡先	【 団 体 名 】 いきものみつけファーム in 松本 【 担 当 者 名 】 藤村 哲 【 代 表 者 名 】 降旗一路 【 T E L 】 090-2219-2457 (随時連絡可能) 【 F A X 】 0263-88-7595 【 メ ー ル 】 mike_matumoto@yahoo.co.jp 【 H P 】 無し 【 住 所 】 〒399-0011 松本市寿北 9-7-17
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書 兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育 文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター 担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介シート登録用紙

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校外、校外どちらでも可】 【関連する主な教科・領域：社会、理科、図工美術、生活、総合】

講師名	信州野外体験楽校ぷらす 代表 降幡光幸
講師(団体)について	平成26年4月より廃校小学校(旧中川小学校)を拠点に運営開始。現在出前(出張によるプログラム企画、運営)をメインに活動中です。公民館、児童会の主催する外あそび体験学習、小学校の環境学習支援、民間運営のキャンプ支援等に参加しています。
得意とする分野や支援内容	<p>体験型学習支援が得意です。火起こし体験(人と火の繋がり)や、ネイチャーゲームなどができます。これまで火起こし体験や、木育(ストラップづくり)、ツリーハウスづくりなどの講座を開催してきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>火起こし体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ツリーハウス</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>燻製</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>木育(ストラップ)</p> </div> </div>
実施(可能な)プログラム例	<p>① 火起こし体験(人と火の繋がり) ②ネイチャーゲーム ③ 木育(ストラップづくり等) ④ツリーハウス ⑤ アイスブレイクゲーム 他 ※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。</p>
対象	全学年に合わせた授業実施可能(プログラムにより学年制限があります。)
時間	90～180分程度、ご相談の上柔軟に対応します。
講師人数	子ども10～15 人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき 5,000 円(授業1時限毎) ④ クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・プログラムにより、ご相談の上柔軟に対応します。 ⑤ 児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・プログラムにより、ご相談の上柔軟に対応します。</p>
学校側で必要な準備	・プログラムにより、ご相談の上柔軟に対応します。
開催実績	<p>令和7年度：梓川小学校火起こし体験・梓川公民館リーダー研修講師 ・檜川小中学校及び保護者、木育(ストラップ作り)講師 ・他体験活動団体向けツリーハウス作り講師</p>
その他	分野、支援内容についても、ご相談の上柔軟に対応します。
講師連絡先	<p>【団体名】 信州やがいたいけん楽校 ぷらす 【代表者名】 降幡光幸 【TEL】 090-3042-0744 【FAX】 080-87-2083 【メール】 m.furig.tlc2010@way.ocn.ne.jp 【住所】〒390-0315 松本市岡田町大字岡田 630-6</p>
申込み方法	<p>①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑥ 終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。</p>

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介

【表1】プログラム掲載する内容

【分類:校外、校外どちらでも可】【関連する主な教科・領域:社会、理科、図工美術、技術家庭、生活、総合】


講師名	体験創庫かけはし構成メンバー
講師(団体)について	<p>代表藤村哲と副代表中澤朋代は、自然体験と環境教育の指導者資格を複数保有。これまで10年間以上毎年松本市内の小中学校で指導経験あり。民間イベントでの講座実施経験も多数あります。自然体験・農業体験・各種講習会を年間多数実施しています。</p>
得意とする分野や支援内容	<p>1 自然と環境について学べる講座です。プロジェクトWILDやWETなど体験型環境教育プログラムを通じて、児童・生徒に身近な自然や、環境について学びと気づきを得ていただけます。これまで県内の小中学校や環境イベントなどで披露した実績もあります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>2 身近にある田んぼや畑での仕事を児童・生徒に体験してもらうことができます。また、キャンプなどで活用できる火熾しや、野外調理についてそのやり方を知ることができます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
実施(可能な)プログラム例	<p>1 屋内外を問わず環境教育に関するアクティビティを、児童・生徒達が体験型学習で実施します。自然や環境についての知識の習得を楽しみながら行えるアクティビティを提供します。</p> <p>2 自然体験と農業について学べるアクティビティを、児童・生徒達が体験型学習で実施します。自然や農業・火熾しなどに関する知識の習得を楽しみながら行えるアクティビティを提供します。</p> <p>※学校や子どもたちのニーズに合わせて、ご相談の上、柔軟に対応します。</p>
対象	小1から中3まで、特別支援学級
時間	90分程度
講師人数	子ども20人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき 5,000 円(授業1時限毎)</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代金、実習資材(必要な場合)の代金(応相談)</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・資料代金、実習資材(必要な場合)の代金(応相談)</p>
学校側で必要な準備	打ち合わせ時に確認

<p>開催実績</p>	<p>1 平成 29～令和 2 年度 波田小学校 平成 29～令和元年度 松島中学校 平成 30 年 10 月「安曇野環境フェア」イベント講師 令和 2 年度 安曇小学校 令和元年度～7年度 波田小学校特別支援学級</p> <p>2 平成 29 年度 田川小学校 平成 29～令和元年度 令和 7 年度 波田小学校 令和 2 年度 菅野小学校</p>
<p>その他</p>	<p>教職員の方向けに環境教育指導者資格の講習会を行う事もできます。</p>
<p>講師 連絡先</p>	<p>【団体名】 体験創庫かけはし 【担当者名】 藤村哲 【代表者名】藤村 哲 【TEL】 090-2219-2457 (随時連絡可能) 【FAX】 0263-88-7595 【メール】 ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【HP】 https://kakehashi-taiken.com/ 【住所】〒390-1401 松本市波田4507-3</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。</p>

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介シート登録用紙

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校内】、【関連する主な教科・領域：理科、社会、総合】

講師名	認定 NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ	
講師(団体)について	<p>2005年に設立された、長野県の山岳地帯を主な活動場所とするNPO法人です。登山ガイド・自然ガイドのライセンス保持者で構成されています。登山ガイドの松場省吾他、学校登山サポートプログラムを長年担当しているガイドが実施いたします。信州の子ども達が、山好きになるきっかけを作りたい。山好きになって、山での遊びを沢山知ってもらえば、登山や野外での活動は大人になっても続けることができる。“持続可能な登山と自然体験”を目指して活動しています。</p>	
得意とする分野や支援内容	<p>主に小学校の美ヶ原学校登山の事前学習として活用させていただいております。長野県の伝統行事である学校登山を大切にしつつ、安全登山のノウハウや山や自然の魅力を伝え、登山への意欲を高めます。先生、保護者、子ども達の不安を取り除き、子ども達のみんなでやり遂げる気持ちを引き出します。</p>	
実施(可能な)プログラム例	<p>「山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境」 児童の人数によって、教室、講堂、体育館などでの授業</p>	
対象	<p>小学校 5 年生以上、特別支援学級</p>	
時間	<p>45分程度</p>	
講師人数	<p>1学年につき講師1人</p>	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき 5,000 円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・ ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・</p>	
学校側で必要な準備	<p>プロジェクター。</p>	
開催実績	<p>令和7年度 並柳小学校登山事前学習会 5月22日</p>	
その他		
講師連絡先	<p>【団体名】認定 NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ 【担当者名】川上康人 【代表者名】植松晃岳 【TEL】0263341543 (時以降なら連絡可能) 【FAX】0263556194 【メール】info@yamatami.com 【HP】yamatami.com 【住所】〒3901401 松本市大村1082-4</p>	
申込み方法	<p>①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。 ②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。 ③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。 ④当日を迎える。 ⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。</p>	

令和8年度 松本市小中学校環境教育支援事業講師紹介シート登録用紙

【表1】プログラム掲載する内容

【分類： 校内】、【関連する主な教科・領域： 社会】

講師名	(株) エコネコル 松本支社
講師(団体)について	松本市、安曇野市を中心に、「もったいない BOX」「特定家電の再資源化」など、地域から発生するリサイクル資源を地産地消することを目指し、地域社会へ貢献できることを目指す企業です。
得意とする分野や支援内容	リサイクルについての学習支援が可能です。  
実施(可能な)プログラム例	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル全般についての学習支援(例 紙のリサイクルについて映像などを使用しての学習) ・使用済みパソコンの解体作業を指導し、部品のリサイクルについて学習 ・地域共生型リサイクル施設「エコネコルプラザあずみ野」の見学を通じて、リサイクルについて学習
対象	小学生から中学生まで(実施は同時に1クラスのみ)
時間	50分程度
講師人数	パソコン解体学習の場合、子ども5~6人に1台を講師1人が担当
費用	<p>①講師謝礼 → 無償</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 不要</p> <p>③児童個人で必要なもの → 不要</p>
学校側で必要な準備	パソコン解体学習の場合軍手等
開催実績	令和5年以降 穂高西小、北小、南小でパソコン解体学習実施
その他	プログラム実施の2カ月前には連絡をお願いします。
講師連絡先	<p>【団体名】(株)エコネコル 松本支社</p> <p>【担当者名】 統括部 新井 通夫 【代表者名】支社長 鈴木 秀一</p> <p>【TEL】 47-3211</p> <p>【FAX】 47-3213</p> <p>【メール】 m-arai@econecol.co.jp</p> <p>【HP】</p> <p>【住所】〒 390-0852 松本市大字島立2346番地</p>
申込み方法	<p>①学校から講師へ連絡し、希望する内容を打診し、可能であれば申込書兼打合せシートを作成する。</p> <p>②作成した申込書兼打合せシートを上記講師連絡先 FAX および教育文化センター担当(FAX:32-7604)にそれぞれ送付する。</p> <p>③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。</p> <p>④当日を迎える。</p> <p>⑤終了後、実施報告書および市のアンケートを作成し、教育文化センター担当へメール(kyoubunrika@matsumoto-ngn.ed.jp)送付する。</p>